

研究課題名

需要応答型交通(DRT)を活用した高齢者の移動保障に関する研究

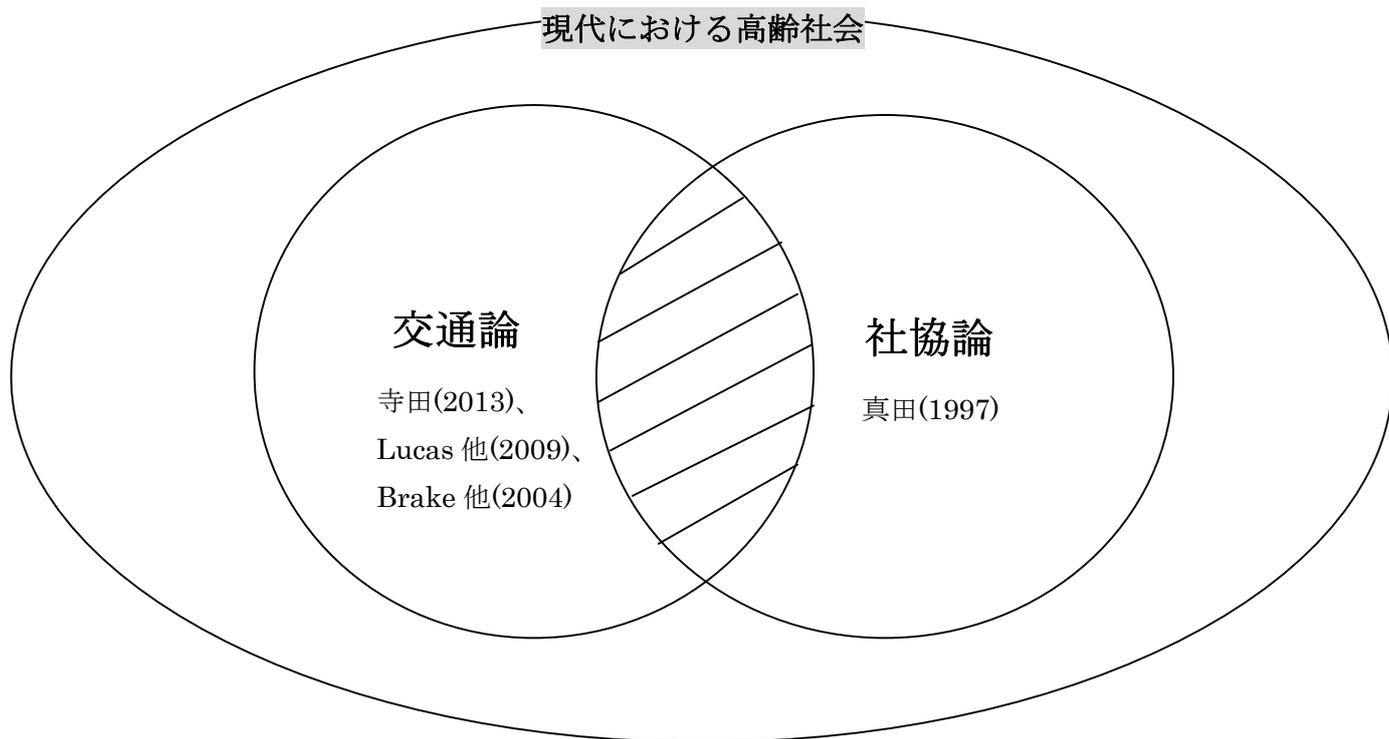


図1 高齢社会における本研究の位置付け

〈交通論から見た問題〉

- ・モータリゼーションによる車中心社会の成立
- ・地方部でのドライバーの高齢化による、自動車運転事故のリスク増加
- ・地方公共交通の不採算による路線減少、廃止
- ・路線型バスの限界：利用者減→公共交通衰退という悪循環に陥っている

〈社協論から見た問題〉

- ・「住民組織化」を推進していくなかで、人と人とを結びつける必要性
- ・生活課題としての高齢者・障害者の「移動」
- ・買い物や病院へ通うための生活支援の必要性
- ・制度的に、社会福祉の「対象」とならない限り、送迎サービスなどを利用できない現状

〈解決策〉

需要応答型交通 (DRT) を活用した
三重県玉城町・長野県安曇野市の社会福祉協議会の実践

図2 二分野から見た問題と、解決策としての需要応答型交通